

平成 27 年度第 4 回 幹事会報告

平成 28 年 1 月 26 日 (火)

於：藍野大学 中央図書館 3 階会議室

[出席者]

幹事：寺澤裕子（関労災）、畑美之（阪警察）、
藤原純子（音羽病）
事務局長：増田徹（藍野大）

[各部からの報告事項]

■事務局（総務）

1. 第 42 回総会

第 42 回総会・第 138 回研修会は、2016 年 3 月 18 日（金）に、JR 京都駅前のキャンパスプラザ京都 2 階 第 1 会議室にて行う。総会記念講演は、医学書院の編集者白石正明氏に依頼。総会の選挙管理委員は、岩崎智子氏（コープ）山本温子氏（明石市）に依頼。

2. 平成 27 年度役員会

2 月 26 日（金）14 時より、洛和会音羽病院 D 棟会議室 3 にて開催予定。武内会長先生の異動が決まり、役員会および総会はお欠席の予定。

3. 次期会長について

武内先生の会長職の継続が難しい状況にあり、現在滋賀医療技術専門学校校長砂川勇先生に打診中。

4. ニュースレター

ニュースレター No.35 を 12 月 18 日（金）に送付。

■事務局（会計）

1. 収支（2016 年 1 月 22 日）

会費収入 3,580,000 円、会費以外の収入 220,580 円。事業費 549,971 円（予算 256 万円）、管理費 2,183,500 円（予算 7,374,339 円うち予備費 150 万円）。

2. 平成 27 年度決算

2 月末締切、3 月上旬会計監査を受ける。2 月未までに大きな収支を予定している事業部は事

前に連絡してほしい。

■研修部

1. 第 137 回研修会

日 程：11 月 14 日（土）

時 間：10 時 00 分～17 時 00 分

場 所：星ヶ丘医療センター

テーマ：緩和ケア

・プロダクト・レビュー

医学書院、医学中央雑誌刊行会、
サンメディア、シュプリンガー・ジャパン、
EBSCO International、
エルゼビア・ジャパン、ユサコ
・ギアチェンジをサポートする情報提供

京都医療センター腫瘍内科

安井 久晃 氏

・がん患者さんと家族を支えるための図書館

特定非営利活動法人キャンサーリボンズ

岡山 慶子 氏

・当院の緩和ケアにおける薬剤師の関わり

姫路聖マリア病院薬剤部 岩崎 祐子 氏

・当院のがんライフサポートと緩和ケアにおける看護師の役割

淀川キリスト教病院 看護部

杉田 智子 氏

・質疑応答・意見交換

・星ヶ丘医療センター図書室見学

参加者数 29 名（会員 14、会員外 1、講師 5、
企業 9）

2. 第 41 回勉強会（予定）

テーマ：雑誌の製本、図書の補修

講 師：藤原孝氏

日 程：1 月 30 日（土）

時 間：13：30～16：30

場 所：京都桂病院図書室

3. 第 138 回研修会（事例・研究報告会）

発表候補者は、中川氏（鳥中病）、谷口氏（八尾）、山本氏（明石市）、高須賀氏（松山市）。

■会誌編集部

1. 原稿の状況

34 巻 2 号 校了。印刷・発行待ち。
35 巻 1 号 各部員からの原稿提出待ち。

2. 次回編集会議について

第 3 回編集会議は、開催未定。原稿の集まり具合による。

3. ISBN（継続）の更新

3 年に 1 回更新。費用は 10,800 円。支払いを会計担当に依頼。

4. 35 巻 2 号の特集

認定看護師または看護師の専門性について。

特集の目的は、通常の業務から一歩進んだ看護業務について（専門や認定看護師、助産師など）実際の仕事の事例を知り、図書館としてどういうサポートができるかを考える。

■統計調査部

1. 平成 26 年度統計調査現状

2015 年 12 月 18 日（金）提出締切で、回答施設数は 92。うち公開可施設は 51（前はそれぞれ 89、52）。3 月総会開催までには集計し、報告書を PDF データで近図雲上にアップする（公開可施設には印刷して郵送）。

■ホームページ WG

1. 表示変更

イベント「新しく書き込む欄」をトピックと同様に上に表示させる作業は、11 月 26 日依頼 1 月 12 日に完了した。

2. 近図雲書庫 研修会資料のカテゴリ追加

リポジトリ研修会資料の掲載（管理 R）と画面左側カテゴリー一覧はその他の「勉強会」下に「リポジトリ研修会」を追加。1 月 12 日に完了。

■リポジトリ部

1. 参加機関

12 機関（2016 年 1 月 18 日時点）

（洛和会音羽病院、三菱京都病院、住友病院、八尾市立病院、コープおおさか病院、大阪府済

生会千里病院、姫路聖マリア病院、和歌山生協病院、大阪府済生会中津病院、松山赤十字病院、関西労災病院、神戸市立医療センター中央市民病院）

2. マニュアルの公開

病図協ウェブサイト>共同リポジトリ（KINTORE）>実務者ページにマニュアルを追加した。

3. リポジトリ公開日

平成 28 年 1 月 28 日（木）10 時より本公開。

4. 会誌バックナンバーの登録

会誌 20 巻 1・2 号（2000 年 7 月）～33 巻 2 号（2014 年 9 月）の登録が 26 日に完了する。

対 象：会誌（論文数 631 件、3,758 頁）

費 用：701,667 円

5. 機関発行誌のリポジトリ掲載補助

11 月 24 日 近図雲公式トピックにて告知

12 月 4 日 申請締切

リポジトリ部員より参加施設担当者に連絡を行ったが、掲載する雑誌（紀要）がない、著作権許諾処理が済んでいないといった理由で申請はなかった。

準備中の施設 3 施設から問い合わせがあり、リポジトリ参加や準備を行い来年度に申請したいということであったので、来年度は早い時期に申請募集を行う。ルールは今年度と同様、1 機関 1 誌 1 号につき補助する。

6. 部会

第 4 回：2015 年 12 月 2 日（水）

藍野大学 4 名

[協議・決定事項]

■事務局（総務）

1. 機関リポジトリ推進委員会よりアンケートの依頼

事務局へ到着し出席幹事にて回答後、編集部部長へ報告する。

■事務局（会計）

1. 平成 28 年度予算案作成

2月26日に開催予定の役員会に提出する。例年と同じ金額で予算を割り当てる。特別な活動を予定している事業部はその旨を申し出る。

交流会は27年度と同じく年1回にする。

MIS33 長崎への参加助成は3万円×3名。病図協事業の発表者は、対外活動費で実費支給（1演題につき原則1名）。剰余金は予備費に含まれる。

■目録サポートチーム

1. 新体制について

KITOCat の現状を見ると、目録作成はナレッジワイヤが担っており、当協議会としてはKITOCat あるいはILLにまつわる教育や利用促進に活動の重点をシフトすべきと考える。今後会員からの幹事や部員としての協力が楽観視できないことを考えると、目録サポートチームはホームページWGと統合することも考える。もう少し様子を見たい。

2. ビジター ID について

ビジターも円滑にKITOCatが利用できるようにしたい。現在のKITOCatのホーム画面は病図協ホームページにリンクしているが、ビジター用のKITOCatお知らせページにリンクさせ、そこでID/PWと注意書きを見ていただき、そこにつけたバナーでログイン画面に進むようにする。ナレッジワイヤの大西さんに確認したが、そこでビジターが見られるのは病図協会員のうち公開条件を「visitorを含むすべて」としている機関の所蔵だけなので、他ネットワークに迷惑をかけることはない。

3. ID/PW について

ID/PWをお伝えした機関が2つあり、うち1機関はこちらからの電話でKITOCatの存在を知った。一度ID/PWがわからない機関がないか、近図雲あるいはNLなどで確認したい。

■ホームページ WG

1. 平成 28 年度予算

ホームページメンテナンス費用として例年通り月2万円計24万円を申請したい。

2. 近図雲の過去カテゴリ

近図雲の過去カテゴリにある情報を会員コミュニティへ移動させる。過去カテゴリには近図雲改修前にあったコミュニティを集めている。近図雲内で情報を探す「トピック検索」に含まれないが、役立つ情報もあるため、検索して活用できるように会員コミュニティへ移したい。移設後過去カテゴリは削除する。移動対象トピックを22項目に絞った。

会員コミュニティへの移設手順は次のとおり。

トピックとそのトピックへの書き込みを1つにまとめ、会員コミュニティに書き込む。画像も含める。

計22個トピックが立つことになり、同件数分のPCメール通知が全会員に届く。会員へ事前に通知してから書き込む。

3. フレンド日記書き込みのPCメール通知

フレンド日記書き込みをフレンドに通知する機能が働いていない。近図雲内のカスタマイズが原因と思われるが特定できず解決のめどが立っていない。業者から一旦この機能を設定変更画面から非表示にしたい旨の申し出を受けた。日記の機能は変わらず利用でき、会員の利用には特に支障は生じない。設定変更画面「フレンドの日記更新情報をPCメールで受け取る」項目を非表示にする。

■リポジトリ部

1. 会誌創刊号～19巻のリポジトリ公開

第42回総会にて会員の承認を得たうえで、会誌と病図協ウェブサイトには包括許諾文書を掲載して公開する（平成27年度第2回幹事会にて協議・決定）。

包括許諾文書を確認し、総会議案書に資料として綴じ、会員に配布する。

2. 会誌のリポジトリ公開規則

会誌発行後、どのタイミングでリポジトリ公開するかを会誌編集部で検討してもらう。

3. 著者からの公開希望

会誌掲載記事について、著者が自機関のリポジトリに掲載したい旨の申し出があった場合、現在は会誌編集部にご一報いただき公開を許可している。今後も同様に運用する。自機関リポジトリではなく KINTORE で公開希望があった場合も、会誌編集部に報告した上で、会誌の公開を待たずリポジトリに登録し公開する。